

平成26年10月22日

# 貧酸素水塊速報 (2014年)

【発行】○ 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議  
神奈川水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会  
【協力】 千葉県環境研究センター ○ 東京都環境局  
第三管区海上保安本部 (独) 国立環境研究所  
○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)  
(今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

## 平成26年10月20日観測結果

市原～千葉地先に溶存酸素量が1mL/L以下と強く貧酸素化した海域が見られています。また、その他の内湾北部海域でも小規模な貧酸素水塊が存在しています(図1)。ただ、貧酸素水塊の厚みは薄く、規模は例年より小さくなっています(図2, 3)。

水温は表層は19～21℃、底層は20～21℃です。

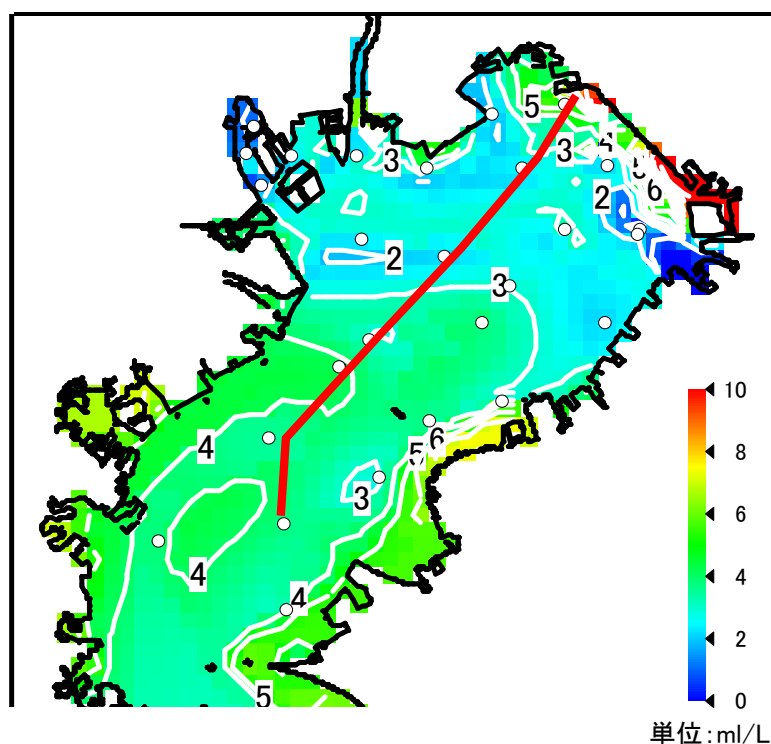


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

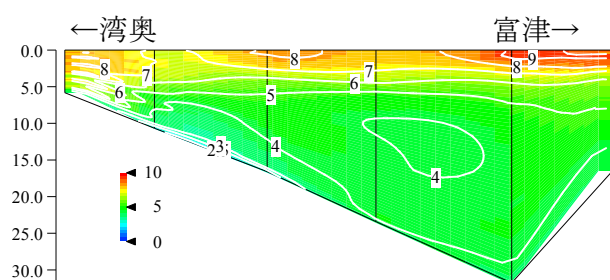


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

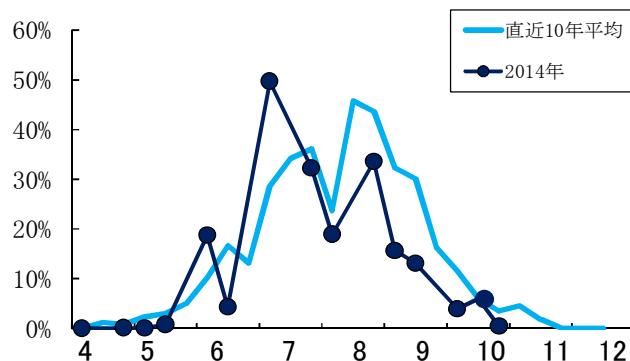


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)